

【答】 今後の萩の台線整備検討の中で、道路の形をどうするかにより、必要な用地も変わってくるため、まずは現地測量等の調査を行った上で検討していきたい。

【質】 能代公園の桜の維持管理状況は。
【答】 一昨年、樹木医により、桜の樹勢が弱っていることを確認したため、施肥により経過観察しているほか、角館を訪問し、現地の担当者からも話を伺っている。

【質】 浄化槽設置を普及するための対策は。

【答】 浄化槽設置資金融資あっせん制度や住宅リフォーム支援事業の補助金が活用できることを周知することにより、普及推進に努めたい。

【質】 比八田地区や外荒巻地区への上水道整備予定は。

【答】 採算性から上水道による整備は難しく、共同給水施設での整備の検討をお願いしたが、地元の意見がまとまっていない状況である。

【質】 今後の下水道使用料の改定見込みは。

【答】 2026年度までの使用料見直しは不要と考えている。それ以降については、2021年度に経営戦略の中間見直しを行うため、その時点において検討する。

(落合範良)

議会基本条例策定 特別委員会

2月6日に開催された委員会では、たたき台に対する修正案等、各会派からの意見が出され、条文について3回目の検討を行った。

条文の内容に重複がある条項の文言整理について

【意見】 前回、議会事務局から出された参考意見等を踏まえ、重複している文言の整理及びこれに伴う条項の整理の検討が必要ではないか。

【意見】 市民にわかりやすければ重複していても必要だと考えており、再度検討してもらいたい。

新たな取り組み等の条文化について

【意見】 議会全体として、まだ確認されていない新たな取り組み等は、内容を検討することが必要であり、条文から一旦削除という形で外すべきではないか。

【意見】 条例の骨格と考えている「議員間の自由討議」「報告会および広報の充実」や議会運営委員会でも検討されている「議会改革の協議の場の設置」は、条例にどう盛り込むか、再度検討してもらいたい。

【意見】 条例は現状をまとめたものでなく、これからの能代市議会の目指す姿だと考えている。確認されていないから一旦削除するのではなく、そのようなところも加味して検討してほしい。

す姿だと考えている。確認されていないから一旦削除するのではなく、そのようなところも加味して検討してほしい。

【協議結果】 各意見を会派に持ち帰り、次回委員会において、1条ずつ決めていくことと決定した。

3月定例会では引き続き条文について検討を行った。

「目的」について

【意見】 「役割や責任、活動原則等に関する基本的事項を定める」との文言があるが、条例中に「活動原則」の条項はあるものの「役割や責任」の条項はないため、「活動原則等」の「等」の部分に含められると考え、「役割や責任」の文言は削除してよいのではないか。

【意見】 特定の条項がなくとも、条例全体が議会の役割や責任を規定しているものだと解釈すれば、条文に載っていてもよいのではないか。

「議員の報酬」について

【意見】 報酬改定は市長提案、市民の直接請求等が考えられるが、あくまでも委員会または議員が改正議案を提出する場合の条文とするべき。

【協議結果】 「他の地方公共団体の議会との連携」については、全会一致で、現

在の条文案のとおりとすることと決定した。

また、前回の重複している文言の整理及び新たな取り組みの条文化の再検討についての意見を受け、条項を削らずに、条文を組みかえ、文言を整理し直した、新たな案が提出された。

なお、他の条文については、引き続き検討を要し、議会閉会中の継続調査とすることに決定した。

(佐藤智一)



議会基本条例策定特別委員会の様子